

1. 実施機関

国立大学法人 千葉大学

2. 企画名

Society 5.0を創出する未来リーディング人財養成

～科学技術の高度な基礎力とSociety 5.0において世界を作り上げる能力を併せ持った課題
解決型科学技術人財の養成～

3. 総合評価コメント

第一段階において、データサイエンス、デザイン思考、ディベートなどを講座に取り入れて、特徴のある育成プログラムを実施している点は評価できる。英語教育では、教員研修留学生が指導を行うほか、コーディネータと直接英語によるディスカッションを通じて研究計画を立案するなど、多様な面から英語力を高める工夫を行っている。2年度目からは、受講生の興味・関心に対応できるようカリキュラムを見直し、初年度の反省点を改善しながら取組を推進している点も良い。

一方で、第二段階では、データサイエンスやデザイン思考など第一段階の取組と連携する活動が少ないように見受けられるため、育成プログラムの系統化を進める。また、募集と選抜について、研究意欲の高い生徒の応募者増加に努め、選抜方法を工夫することにより、優秀で多様な受講生が選抜されることが望まれる。受講生評価においては、受講生個々の特性や能力を可視化できる評価や、受講生へのフィードバックを期待する。加えて、外部評価委員による検証と改善を繰り返すことにより、育成プログラムをさらに充実させる。